

3.安全で安心して暮らせる川づくり

県内の河川は、流路が狭く急流であるため、洪水時には流量が短時間に急増し、堤防・護岸等の決壊や氾濫による浸水被害により、県民の生命や財産が危険にさらされることがたびたび起こっています。このため、県では、治水対策として、安全で安心して暮らせる川づくりを目指して河川改修を進めています。

(1) 水害実績

県内における主な水害は、戦前では昭和18年の台風7号や昭和20年の死者・行方不明者182名にも及んだ枕崎台風が記録されています。近年では、昭和51年の台風17号、平成7年7月の梅雨前線豪雨による肱川流域の大洪水があります。平成16年には、度重なる台風の来襲により県内各地で河川が氾濫し、台風16号では久米川(大洲市)で浸水家屋205戸という甚大な被害が発生したのは記憶に新しいところです。



平成16年8月 台風16号 久米川(大洲市)



平成16年8月 台風16号 肱川(大洲市)



平成16年9月 台風21号 界谷川(西条市)